

# こんぺいとう通信

2004

8

皆さんは、最近ワクワクするような経験をなさっていますか？夏休みのこの時期、子どもだった私は身の回りに起きる一つ一つの出来事に心を躍らせたものですが、歳を重ねるにつれ、段々と心が動かされることが少なくなってきたような気がします。大好きだったはずの趣味のパソコンも、今ではすっかり仕事の道具。十数年も前に初めてパソコンと出会った頃、パソコンは今のよう便利な機械ではありませんでした。デジカメもインターネットもなかったし、ウィンドウズもありませんでした。パソコンの性能も現在とは桁違いに低く、扱えるのは文字データぐらい。写真や音楽をパソコンで扱うなど想像もできませんでした。それでも、当時はただパソコンを触っているだけで楽しくて、あっという間に時間が過ぎてしまったものでした。それが今では、パソコンの電源を入れるのも、半ば義務であったり惰性であったりします。そして、そのことに淋しさを感じることもあります。

そんな私に刺激を与えてくれるのは、教室に通ってくださっている皆さんです。いろはパソコン教室に通われる方のほとんどは、パソコンが全く初めてという方たち。その皆さんがパソコンに触れ、最初は戸惑い、徐々に惹き込まれ、やがてご自分なりの楽しみを見つけていかれる。思い通りに操作ができて顔をほころばせる方。とんだ勘違いに大笑いされる方。思わぬ発見に思わず歓声を上げる方。そしてどの方も、まるで少年少女のような目をして熱心に画面を見つめていらっしゃいます。その様子を目にするとき、かつての自分の姿が思い起こされます。そして「この仕事をしてよかったなあ」と感じる瞬間でもあります。なぜなら、『パソコンの楽しみ』や『できたときの喜び』を皆さんにおすそ分けしたい」というのが、この仕事を始めたきっかけだったからです。

先月、私が敬愛するミュージシャンが、4年半ぶりに新しいアルバムを発表しました。今、それを聴きながら、久しぶりに心が湧き立つのを感じています。今月も新たな気持ちで頑張ります！！

## 教室からのお知らせ

### デジカメ講座のテキストができました

いろはパソコン教室オリジナルのテキストです。内容は、デジカメの基本操作、画像の取り込み・印刷・整理の仕方、簡単なレタッチ（画像の修整）、および活用例となっています。レベルとしてはワードの初級のテキストを終えた方を想定しています。1冊 500円となります。

他のテキスト同様、独習用ではありませんので教室でのレッスンと併せてご利用ください。

### 皆さんの声をお聞かせください

毎月の「こんぺいとう通信」も代わり映えがしないなあ、とお感じになっていらっしゃいませんか？そこで「こんな企画はどうかしら？」というご希望やアイデアがあれば、ぜひお寄せください。他にも、「こんな講座を開いてほしい」とか「こうしたら生徒さんが増えるよ」というアリガタイ(!)ご提案も大歓迎です。ただしインストラクターの容貌に関する苦情はご容赦くださいませ m(\_\_)m

世の中にコンピュータとはどういうものか、あまり知られていない頃からコンピュータに親しむ環境にあり、私には勉強するチャンスもたくさんありながら、一本の指をも触れることなく、また素晴らしい文明なる機器に挑戦しようという思いもなく、昨年今ごろ永きに亘る職場を去った一人の老人がいた、それは私です。

しかし、心のどこかにこの時代にコンピュータの操作も活用もできないなんて、小さな子どもにも劣るむなしさやコンプレックスを今までも、否現在でも持ち続ける毎日です。

毎日が情報化時代に生きて行く者にとって、いかにコンピュータの持つ機能の素晴らしさと必要性を思い感じる日々でもありました。

子どもたちにもバカにされない程度の知識、送られてくる郵便物、町内会の回覧板の伝達文書はみなコンピュータによる活字ばかり。すっかりコンピュータの時代とは常識でもあり、生活をしていく上ではまったく必需品のような時代と言えるでしょう。

何とか人様の真似事ぐらいになれば良しと、種々複雑な気持ちで友人や町のパソコン教室を巡り、勉強の機会を聞き歩いたが、これと思われる、私の能力を満たしてくれそうもない思いでした。ちょうどその頃、家庭に舞い込んできた一枚の地元情報パンフレットに、「初心者向けのパソコン教室」と紹介された記事があった。

積極的に勧めてくれる女房からの差し出されたパンフレットには、無料体験会と書かれてあり

ました。早速最終日に、恥をかいてもよし、断腸の思いで伺うことにした。その時に応対されたのが、若い優しそうな先生でした。

何もできない私に、手取り身を包むように初めて触れるパソコン。スイッチの入れ方から、マウスの操作、クリックの仕方など、しかし何もかもうまくいかない私に、さらに今度はトランプゲームを勧めてくれました。私に少しでも興味を持ってもらうためのものでした。そうだ、在職中に身の回りで、昼休みによくトランプゲームに熱中している仲間が大勢おり、今となり思い浮かべております。

また、先生から早く上達するには、学校の勉強と同じ復習が第一であると言われ、ちょっと早いと思いながらもパソコンに早く興味を持つには導入した方がよいと思う気持ちになりました。

それよりも、そろそろ惚けが始まった老人、私には本当に必要なことなのではないかと思うようになりました。そして、先生からのアドバイスで、某電気店で某メーカーの品を購入することにしました。そして、今は毎日女房とトランプゲームに没頭している今日この頃です。

今後はどこまでどうなるか想像もできませんが、一つの惚け防止のため、また優しい先生を頼りに少しでも成長できればと思いながら、楽しみにしております。

それは、自分の努力と能力次第で決まることなのでしょう。

### 笑劇のニュース インターネットで見つけた出来事

美容室での事。カットに来た小学1年生の男の子に美容師さんが「ボクの足は細くて長いのでバンビみたいね」と誉めたら、その子が「ええっ？墓から出てくる奴?!」坊や、そりゃ、ゾンビ!

もうすぐオリンピックですね。寝不足の顔を見せないようにしなければ(坂)

米川さんは6月の半ばに入会されました。最初にお目にかかったときの印象は忘れられません。少し緊張されていたようでしたが、パソコンに興味があるぞ、というお気持ちがとても強く感じられました。パソコンができなくても命を取られることはありませんが、できるようになるととても楽しいですよ。ぜひ一緒にがんばっていきましょうね。  
今回原稿をお願いしたら、なんと毛筆で書いてきてくださいました。米川さんの気合のこもった文章に圧倒されてしまったので、今回は全文をほぼそのまま掲載させていただきました。